



上川地本ニュース

第2号 2013年3月6日

発行者 自治労北海道上川地方本部

住所 旭川市永山6条19丁目 上川合同庁舎4F

◆南部ブロック～2013.2.25～富良野市

(富良野・上富良野・南富良野・占冠)

テーマ「地方公務員の社会保障制度

～北海道市町村職員共済組合の現状」

4単組31人の参加により開催され、自治労北海道本部臨時執行委員で北海道市町村職員共済組合理事(職員側代表)でもある和田英浩さんを迎え講演を受けました。講演では、被用者年金一元化を含めた年金の状況、これから減額される退職金の一部が年金払い退職給付となること、年金支給開始年齢が引き上げられることから再任用制度の運用が必要なことなど制度についてと併せて、これら共済制度が政治に大きく左右されることが話されました。参加者からは、「普段、労働組合の学習会で聞けない話題で勉強になった」などの声があり、今後の運動に繋がる学習会となりました。



和田臨時執行委員



三浦政治部長



真剣にメモをとる仲間

◆北部ブロック～2013.2.27～名寄市

(名寄・士別・和寒・剣淵・下川・美深・音威子府・中川)

テーマ「政治闘争について」

10単組・総支部50名(名寄社事労、全道庁上川総支部の仲間も参加)の参加により開催され、自治労北海道本部政治部長三浦亨さんを講師に迎え学習会を開催しました。講演では「政治への無関心は、独裁政治を生み、人々の自由や人権を侵害する恐れがある。」「自治体職員の仕事は憲法が原点であり、基本的人権と民主主義を意識する必要がある。」など話され、地方公務員給与▲7.8%を含む地方交付税削減は、安倍政権の暴挙であり、夏の参議院選挙での自治労組織内あいはらくみこ、北海道選挙区小川勝也の勝利はもちろんのこと、あいはらの得票は自治労の政治力にも影響し、全体でたたかなければならないと締めくくりました。

春闘1地本1企画

ブロック別学習会開催

◆中央・旭川ブロック合同～2013.3.2～旭川市

(旭川・鷹栖・比布・愛別・上川・当麻・東神楽・東川・美瑛)

テーマ「労働組合の『メンタルヘルスケア』について」

在旭と中央部8町合同で11単組35名の参加によって開催され、自治労北海道本部組織部次長河井勝さんから講演を受けました。講演では前職の日本年金機構の職場の状況や取り組みを織り交ぜながら話され、地方自治体においては人員削減、市町村合併、成果主義などによって、業務過重、職場ストレスの蔓延化によってうつ病などのメンタルヘルス問題が増加傾向にあり、自殺事件など深刻な事態の発生にもつながっており、民間では、この問題が企業パフォーマンスに負の影響があることを認識しつつも、メンタルヘルスを損ない休職・退職者がいる事務所の1/3では対策されていないことが話されました。そして自治体職場において労働組合が行わなければならないこととして「安全衛生委員会を機能させること、労働組合が機能し職場のありのままの事実をつかむことが重要」としました。



河井組織部次長

学習会終了

この春闘学習会に多くの仲間に参加を求め、単組・総支部でのたたかいに生かしてほしいという執行部の想いとして企画しました。全体では全単組・総支部から116名が参加しました。政治に依拠する課題、この社会だからこそ職場に起きる現象「メンタルヘルス問題」などブロック選出の副委員長と執行委員がブロック内の実態を勘案してテーマを設定しました。

いま、地方公務員給与▲7.8%を含む地方交付税の削減など地方自治体は、政権交代以降、危機に直面しています。暮らしと職場を守るということは労働組合が機能することであり、暮らしや職場に起きる現象が社会や政治に起因するのであれば変えるしかありません。暮らし職場を守るたたかいは広範ですが、自治労に全ての仲間が結集し一枚岩になって立ち向かう…団結してガンバロー。